

公立病院改革プランの概要

団 体 名		福井県					
プ ラ ン の 名 称		福井県立すこやかシルバー病院経営改革に関する計画書 (福井県立すこやかシルバー病院指定管理者事業計画書)					
策 定 日		平成 18年 4月 1日					
対 象 期 間		平成 18年度 ~ 平成 22年度					
病 院 の 現 状	病 院 名	福井県立すこやかシルバー病院					
	所 在 地	福井市島寺町93-6					
	病 床 数	100床					
	診 療 科 目	精神科、神経内科、内科、外科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		県内唯一の認知症患者専門病院として、認知症患者に対して、専門的かつ効果的な医療を提供する。 介護教育ならびに認知症に関する知識の普及啓発を行う。					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		精神病院の運営に要する経費(長期入院による減収補填)、保健衛生行政事務に要する経費(介護教育に要する経費)、医師看護師等研究研修経費、病院の建設改良に要する経費(企業債の元利償還金)に対して、一般会計が負担する。					
経 営 効 率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	102.2	100.5	101.1	102.1		
	減価償却費等を除く経常収支比率						
	職員給与費比率	86.8	84.4	90.0	90.0		
上記目標数値設定の考え方		指定管理者の事業計画をもとに、病院事業会計の数値を算出。 (経常黒字化の目標年度： 年度)					

				団体名 (病院名)	福井県 (福井県立すこやかシルバー 病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考	
	平均在院日数	86.8	84.4	90	90		
	紹介率	40.5	41.5	42.6	43.2		
	逆紹介率						
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	平成18年度から指定管理者制度(代行制)を導入済み。 (指定管理者 財団法人 認知症高齢者医療介護教育センター)				
		事業規模・形態の見直し					
		経費削減・抑制対策	人件費の見直し(平成18年度から) 外部委託の徹底(平成18年度から)				
		収入増加・確保対策					
		その他					
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	85.90%	18年度	85.90%	19年度	86.80%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等						

団体名
(病院名)

福井県
(福井県立すやかシルバー
病院)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	福井・坂井医療圏内の公的病院 ・福井県立病院(1,082床:福井市) ・福井県子ども療育センター(50床:福井市) ・福井赤十字病院(616床:福井市) ・福井県済生会病院(466床:福井市) ・坂井市立三国病院(105床:坂井市) ・国立大学機構福井大学付属病院(600床:永平寺町) ・独立行政法人国立病院機構 あわら病院(180床:あわら市)		
	都道府県医療計画等における今後の方向性	ガイドラインに基づき、県では、各公立病院の開設主体の考え方を踏まえて、県内の公立病院の再編とネットワークに関する考え方を示すこととした		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容> 本県の公立病院は、乱立している状態にあるものではなく、各医療圏または圏域内の地域における中核的な医療機関として、機能が集約されている。 このため、本県における再編とネットワーク化の検討については、経営の効率化と地域医療の確保という観点から、経営主体の統合や診療体制の見直し等のガイドラインの想定する事項よりむしろ、地域の医療提供体制の実情を踏まえ、提供する医療内容による機能分担(急性期医療と回復期医療の役割分担)や、地域でニーズのある医療を安全かつ適切に圏域内で確保するための医療連携を中心に、そのあり方を助言していくこととした。	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所) 討中の場合は複数可	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	指定管理者外部評価委員会		
	点検・評価の時期(毎年 月 頃等)	毎年1月頃		
その他特記事項				

(別紙)

団体名 (病院名)	福井県 (福井県立すこやかシルバー病院)
--------------	-------------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 医 業 収 益 a	581	589	565	602	604	
	(1) 料 金 収 入	581	589	565	602	604	
	(2) そ の 他						
	うち他会計負担金						
	2. 医 業 外 収 益	295	293	291	282	281	
	(1) 他会計負担金・補助金	285	279	276	272	270	
	(2) 国 (県) 補 助 金						
	(3) そ の 他	10	14	15	10	11	
	経 常 収 益 (A)	876	882	856	884	885	
	支 出	1. 医 業 費 用 b	613	750	743	769	767
(1) 職 員 給 与 費 c							
(2) 材 料 費							
(3) 経 費		497	637	629	656	655	
(4) 減 価 償 却 費		116	113	113	113	112	
(5) そ の 他							
2. 医 業 外 費 用		117	113	109	105	100	
(1) 支 払 利 息		111	108	103	99	95	
(2) そ の 他		6	5	6	6	5	
経 常 費 用 (B)		730	863	852	874	867	
経 常 損 益 (A) - (B) (C)	146	19	4	10	18		
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)						
	2. 特 別 損 失 (E)						
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)	0	0	0	0	0	
純 損 益 (C) + (F)	146	19	4	10	18		
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	0	0		
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	1,086	1,387	1,477	1,540	1,225	
	流 動 負 債 (イ)	3	3	31	3	3	
	うち一時借入金						
	翌年度繰越財源(ウ)						
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (I)						
差引不良債務 (オ)	-1,083	-1,384	-1,446	-1,537	-1,222		
{(イ)-(I)} - {(ア)-(ウ)}							
単 年 度 資 金 不 足 額 ()	0	0	0	0	0		
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	120.0	102.2	100.5	101.1	102.1		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(I)}{(ア)} \times 100$	-186.4	-235.0	-255.9	-255.3	-202.3		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	94.8	78.5	76.0	78.3	78.7		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0		
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{(ア)} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
病 床 利 用 率	85.9	86.8	84.4	90.0	90.0		

()N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

「N年度 単年度資金不足額」= (「N年度の不良債務額」- 「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること
例)「22年度単年度資金不足額 30百万円」= (「22年度不良債務額 20百万円」- 「21年度不良債務額10百万円」)

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企 業 債						
	2. 他 会 計 出 資 金	58	61	64	67	70	
	3. 他 会 計 負 担 金						
	4. 他 会 計 借 入 金						
	5. 他 会 計 補 助 金						
	6. 国 (県) 補 助 金						
	7. そ の 他						
	収 入 計 (a)	58	61	64	67	70	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)						
	前年度許可債で当年度借入分 (c)						
純計(a) - {(b) + (c)} (A)	58	61	64	67	70		
支 出	1. 建 設 改 良 費	7	1	29	39	36	
	2. 企 業 債 償 還 金	88	91	96	100	104	
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金						
	4. そ の 他						
	支 出 計 (B)	95	92	125	139	140	
差 引 不 足 額 (B) - (A) (C)	37	31	61	72	70		
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	37	31	61	72	70	
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額						
	3. 繰 越 工 事 資 金						
	4. そ の 他						
計 (D)	37	31	61	72	70		
補てん財源不足額 (C) - (D) (E)	0	0	0	0	0		
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E) - (F)	0	0	0	0	0		

1. 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度	23年度
収 益 的 収 支	() 285,241	() 278,921	() 276,340	() 271,688	() 268,918	()
資 本 的 収 支	() 58,342	() 60,967	() 63,711	() 66,579	() 69,578	()
合 計	() 343,583	() 339,888	() 340,051	() 338,267	() 338,496	()

(注)

- 1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。